

第5回あいづ創生市民会議 会議要旨

【日時】 2015/08/25 18:30~20:25

【場所】 会津稽古堂 1F 多目的ホール

【市民会議 参加者】 出席 23 名、欠席 19 名

【会津若松市 参加者】企画調整課(5名)

【日本経済研究所 参加者】社会インフラ本部(2名)

【配付資料】

- ・第5回あいづ創生市民会議 次第
 - ・参加者名簿
 - ・第5回市民会議資料
 - ・「総合計画審議会」及び「庁舎検討懇談会」参加者の選出について
-
-

【議事】

1. 開会（企画調整課）

2. 説明

① テーマ設定の背景について（企画調整課）

- ・市は、人口ビジョンにおいて、交流人口を含めた人口 10 万人の維持を目指すことを目標としている。そのような背景もあり、今回のテーマは、「人と人とのつながりの再生」とした。人と人とのつながりというテーマから、ぜひ多くのご意見をいただきたい。

② プログラム内容等について説明（日本経済研究所）

- ・WS キーワード：新たな出会いの場「会津」
- ・本日の作業内容について
- ・発表手順について

② 質疑等（参加者より）

- ・ワークショップの全体のつながりについて教えてほしい。
⇒ 前回、今回、次回は女性、人と人とのつながり、STOP 人口減少という横串で取組や施策の意見を出していただいている。次回までが総合計画のための市民の方の知恵を出すステージであり、次々回以降は、市職員も参加して意見交換をおこない、とりまとめとなる。テーマに沿って自由に意見を出していただければと思う。（日本経済研究所）

3. WS（進行役：日本経済研究所）

① 作業 1

- ・「各自の考える“出会い”」について各自ポストイットに記入し、グループ内で発表
- ・類似している意見を分類しながら、人と人とのつながりについても適宜議論

② 作業 2

- ・出会いをモチーフとしたストーリーづくり

→作業 1 の成果をもとに、グループごとに“出会い”をモチーフとした取組について協議する

③ 各グループ発表（発表順）

i) Bグループ

- ・出会いとして、漆・漆器業界や和ろうそくなど業界の人同士の人の出会いや、イベントでの出会い、高齢者と子どもの出会い、地域の中での出会い、空き家・古民家を利用した出会い、会津大学とのつながり、自然との出会いなど様々な意見が出た。その中でも、特に歴史・文化が

あり、利用されていない資源として「御薬園」に注目して考えた。

- ・御薬園は、薬園といいながら、薬草が植えられておらず、薬膳料理を食べられるわけでもない。そこで、薬膳をもっとPRしてはどうか。薬草園を作り、薬膳料理を出し、漆器や会津本郷焼に乗せて提供してはどうかと考えた。御種人参、酒も薬膳となる。
- ・県立医科大学の漢方専門家との連携も考えられる。生産者をフューチャーすることで生産者と観光客、地域の人同士のつながりも生まれる。自然との出会いの場として体験学習もできる。伝承により、高齢者と子どものつながりも生まれる。

ii) Cグループ

- ・観光、人、食、伝統、情報、その他というカテゴリで出会いについて議論した。
- ・すべてのカテゴリで、出会うとイノベーションがおこると思う。とはいえ、「知らないはどうしようもない」、知らなければ出会えないため、特に情報と人との出会いが重要である。
- ・出会った後も大事であり、会津三泣きというが、一回目に泣かせてしまっはしかたない。最初に良い思いをして出会っていただくことが大切である。

iii) Aグループ

- ・観光、歴史文化、会津大学に分けて当初話し合いを実施。
- ・観光、歴史文化については、外に向けての発信も大切だが、会津の人間が歴史文化を知らないということがあるので、内の人に向けての発信も重要と考えた。
- ・会津大学については、技術面での出会い、学生と地域との出会い、農業とITとの出会いなどの意見が出た。会津大学を活用できていないので、活かしていくことが重要。
- ・また、最後に世代間交流が重要と考えた。高齢者と子どもの出会い、ハンディキャップのある人との出会い、隣人との出会いなどである。
- ・十分に生かし切れていない資産を活用して、県外や国際的にも交流していくことが重要。

⇒ 参加人数が少なかったため、分科会ごとではなく、受付順にA、B、Cグループの3グループにランダムに分かれて実施した。

⇒ 各グループに市職員・日経研が入り、進行支援を実施した。

⇒ 各グループでストーリーをまとめ、各グループの代表が、全体に向けて発表した。

④ 全体講評（進行役）

⇒ Bグループは、地域資源を生かしてつながりを生むストーリーであり、御薬園以外の他の資源も同様に考えることが可能だろう。Cグループは「知らなければ出会えない」との意見であったが、どのように知ってもらうかは施策として重要である。Aグループは世代間交流を取り上げられたが、会津の中のつながり、外とのつながりを考えるストーリーであった。いずれのグループも具体的な良い提案であり、会津の力、市民意識の高さを感じた。市民の方のアイデアをぜひ総合計画案に盛り込んでいただきたい。

3. 事務連絡（企画調整課）

⇒ 次回の市民会議は9月30日（水）会津稽古堂1階で実施

4. 閉会（企画調整課）

以上